

園見学が鍵!
先輩に学ぶ、
園見学の進め方

教育別

対話



対話が生まだす
子どもから
出発する保育



星美学園短期大学 卒業
2015年4月 入職

劉 婉君
Wantyun Ryū

子ども主体の保育に惹かれ、新栄会に入職4年目。たね組0歳児担任。「子どもたちが発信する言動から子どもに寄り添い、子どもの想いを実現することに一生懸命な温かい仲間が自慢です!」想いを汲み取る保育は難しいが、相談しやすい仲間と一緒に考えていけるため、保育を楽しんでいるとのこと。



園見学のPOINT!

観察と対話から始まる“子どもから出発する保育”は、子ども主体の保育がしたい方に見! 異年齢の関わりにも感動いっぱいです。



日常の保育

保育士と子どもの日常的な関わり方は、保育士の思いが表れる要チェックポイント。異年齢保育にも着目してほしい!



開放的な空間

ガラス張りの壁に囲まれた開放的な空間は、子どもの様子がよく見える環境。ワクワクする園内です!



対話

子どもの気持ちを尊重する保育の基本! 対話を通して乳児さんが気持ちを表現してくれた瞬間は感動モノです。



子ども主体の保育がしたい
想いが叶う園に「目惚れ!」

「子どもから出発する保育に一目惚れしました」そう話すのは、入職4年目の婉さん。大人主導ではなく子ども主体の保育をしたいと考えていたとき、新栄会の「子どもから出発する保育」という保育方針を知り園見学を申し込んだそう。「子どもたちが主体的に遊んでいる様子に一目で心惹かれました。また、お話しした保育士さん全員が、細かな保育のエピソードを教えてくれたことから『子どもと密に関わっているんだ』と感じられて『わたしもこんな保育がしたい!』と人職を決めたんです」

子どもが中心にある保育
その秘密は、観察と対話

子どもと密に関わり寄り添う保育。その鍵は、観察と対話だという。「私たちの保育は、観察から始まります。子どもの視線、表情、言動から『この子は今、何に興味があり、何を考えているんだら

保育士と役割分担ができる環境です。そのため、子どもとじっくり向き合える。そして一緒にいる大人が遊び込むことで、子どもも自然と遊びに集中できるように学びました。また、一緒に遊び込むことで、子どもの興味が分かるようになっていったんです」

満たされた笑顔と成長の証
見つけた瞬間の感動秘話

「子どもの興味を汲み、成長に寄り添えた瞬間は本当に嬉しいです」そう話す婉さんはある夏の話をしてくれた。「感触遊びが好きなのでクラスで片栗粉を使って遊んだときのこと。水溶き片栗粉の感触、食紅を加えた際の色の変化などを楽しんでいると給食の時間に。すると普段は真つ先に『マンマー!』と叫んでいた子が、その日は集中して遊びを続けていたんです。遊んでいてもすぐ他のことに興味移ってしまう子だったので、こんなに集中できるんだと驚きました。その後、その子が遊びに満足して立ち上がったので『みんなとマンマ食べる?』と尋ねると、頷きながら満面の笑顔に! 『遊びに満足できると、こんなに良い表情をするんだ』と感動。集中力の成長も感じた、忘れられない出来事です」

叶えたい保育を見つけて…
輝く先輩からのアドバイス

自分に合った保育を見つけること。それが、保育を楽しむ秘訣だと婉さん。「や

う」と保育士が考えを巡らせる。そして『お散歩に行く?』など今の子どもたちの気持ちを代弁して、その反応から保育を進める。まさに子ども主体の保育。それが、子どもから出発する保育。大人の決めつけではなく、子どもと対話しながら『今、この子は何に興味があるのか。何が楽しいのか』と考え続けながら、一人ひとりと向き合っています」

寄り添う保育の難しさ
乗り越えられた理由とは

保育に惚れ込んでいた婉さんだが、最初は悩むことも多かったそう。「子どもへの思いを汲みとるって本当に難しく…。理想と現実のギャップに悩みました」そんなとき支えてくれたのは、相談に乗ってくれた先輩たちだった。先輩の保育に臨む姿からも多くを学んだと婉さん。「子どもと遊び込む先輩の姿を見て『子どもに寄り添うときは、遊び込んでも大丈夫なんだ』と気づきました。というのも、新栄会では1クラスに保育士が多いので、全体を見守る保育士、子どもと寄り添う

りたい気持ちが必要な原動力になっています! また、新栄会では全員に『子どもから出発する保育』という目標が浸透している。協力体制が抜群! 志を同じだからこそチームワークが良く、保育を進めやすいんです。自分が共感できる保育を通して、子どもの成長に寄り添えた瞬間は本当に嬉しいですよ」

これから園見学を進める方は、自分の叶えたい保育を探してみたいかがだろうか。そして、子ども主体、子どもから出発する保育に興味がある方は、ぜひ一度、新栄会の保育園を訪れてほしい。



子どもたちが
自由に遊び込む
子ども主体の保育、
ぜひ見てほしいです!

社会福祉法人 新栄会
(取材園: 新栄保育園)

法人情報
東京都新宿区
百人町3-21-14
(法人本部)
☎03-3360-4082
設立: 1930年5月



新宿区内で保育園3園、認定こども園1園、児童館、学童クラブを運営。「子どもの主体性」を育むことを目指し、子ども自らが考え、やってみたいと思うことを尊重する保育を実践。手厚い職員配置、抜群の協力体制で、子どもたちとゆとり関わる事ができる。アットホームな雰囲気の中、職員同士の対話も多く、相談しやすい環境が整っている。